

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 4年 1月 15日

公表: 令和4年 2月 15日

事業所名 一般社団法人虹の里 コアラの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		毎月予定表を作り、人数の確認、適切なスペースを確保できるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーの基準は満たしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に一回会議を行っている。	全職員が参加できるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		前回の調査結果を把握し、改善すべき点を全職員に出してもらった。	職員全員が、調査結果を前向きに捉えた意見をだせるようにする。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度はオンラインでの研修に参加した。	必ず伝達講習を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		出来るだけ客観的に分析している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者が複数の場合は意見交換をして立案する。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			担当者が選任している場合は、立案する際に、他の職員を交えて行う体制にする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇に利用回数を増やすこともある。	長期休暇で生活が崩れる、宿題ができない、などの状況に応じて利用回数の変更を提案した。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々のフィードバックで確認し、月一回の会議で報告して計画の作成をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日行っている。コロナウイルス感染拡大に伴い、ソーシャルディスタンスが保てる机や人員の配置を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々のフィードバックで行っている。	フィードバックで出てきた意見で重要なことについては、全職員で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		担当者会などで情報交換を行う。	コロナウイルス感染拡大防止のため、FAXで行う。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	コロナウイルス感染防止のため行っていない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナウイルス感染防止のため行っていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		見合わせが多かった。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		希望者には行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			より分かりやすく丁寧な説明を心がける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナウイルス感染防止のため、保護者同士の連携を行わなかった。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情については、窓口が対応し、できるだけその場で解決策を提示する。	苦情については、全職員に伝える。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		コロナウイルス感染拡大に伴う事業所の対応を周知するため、連絡体制を構築する。
	35	個人情報に十分注意している	○		施錠可能なロッカーに保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	感染防止のため、行っていない。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		避難訓練は絵カードや話に変更。	保護者の見やすいところに掲示する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		オンラインで研修に参加した。	伝達講習を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	該当者なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		すぐに記入できる形式にしている。	統計を取るなど、傾向を分かりやすくして職員間で情報共有する。